



発行日 2018. 10. 19

生活クラブ連合会
TEL:03-5291-6700
FAX:03-5285-1839

★現場を知り、食べて支えることに繋がりたい！

●「重いかぼちゃはなかなか大変！」北海道積丹町でかぼちゃの収穫 (JA新おたる)

・お天気に恵まれず、雨になったため、外での作業がほとんどできませんでした。にんにくの袋詰め(にんにくを量って、袋につめる。)、じゃがいもの収穫と袋詰め、かぼちゃのマット敷き(かぼちゃの下に土がつかないようにプラスチック皿をひく)、かぼちゃ配送用の箱作りと箱詰め(10kg)などをおこないました。ハウス内で、かぼちゃを詰めた箱(10kg)を運ぶのはなかなか大変でした。(東京、50代女性)

●「生産者の想いを強く感じました！」みかんの摘果と除草作業 (農) 紀州果宝園

・みかん摘果(病気の実及び小さな実を専用はさみで除去)とライム摘果(専用はさみで除去)を行いました。ミカン収穫量は平年並みの見込みとのこと。蒸し暑い天候でしたが、生産者が作業時間を適切に調整してくれたので、快適に農作業できました。また、参加者全員がリピーターで、和気あいあいと楽しく農作業することができました。地元産ママレードをいただいたり、地元産の美味しい果物や野菜料理たくさん食べることができました。農作業や懇親会を通して、生産者の悩みや現状を深く知ることができました。(神奈川、60代男性)

●「食べて支えたい！」水俣の初秋、きばるの仕上げ (生産者グループきばる)

・1日目と2日目で園地作業、3日目は御所浦に渡船し、御所浦の農家の園地査察に同行しました。作業自体は酷暑の中ということで軽作業・短時間のものでした。ただ、樹木の高い所にある実や枝を見上げながらの作業が続くので、適当に低い部分の作業を交互に組み合わせるなどの工夫も必要と教えられました。査察では、きばる独自の基準を用意し 農家同士が状況観察し意見を交わす努力を垣間見ることができ貴重な経験となりました。「欠品はどうしても避けたい」との生産者としての強い一念が伝わり食べることで応えねば、と思いを新たにしました。(東京、60代女性)

●「広大な北海道の大地は圧巻！」北海道沼田町で加工用トマトの収穫 (沼田町)



北海道沼田町で加工用トマトの収穫

・3泊4日でしたが実際は台風の風の影響もあり1日半のお手伝いになりました。今年はお天気が安定せず収穫量が少ないそうです。まだ青いままのトマトが多かったのが印象に残っています。霜が降りる前に収穫をお知らせしなければならないとの事でした。赤く色づいたものを収穫するとの説明を受け、2人一組になり畝を挟んで収穫しました。色が良いと思って掘むと腐っていたりお尻から傷んでいるトマトが多くありましたが、そのようなトマトも取らないと他のトマトが傷んでしまうので、選別しながらの収穫作業でした。収穫したトマトは生産者の方に集めてもらったので重いかごを持つことはありませんでしたが、しゃがんだ体制での作業が続くので腰に少し負担がありました。負担が無いように上手く体制を変えて無心で収穫体験が出来ました。圃場によって手植えと、機械植えで収穫量が違うように感じました。お天気は目まぐるしく変わり、雨が降り虹が出たりまた何処かで雨が降っているのが広い北海道の空。高い建物があるわけではないので見渡せるのは圧巻でした。地震があり停電になりましたが、町役場の職員の方がランプを集めて持ってきていただいたので不自由はなかったです。沼田町職員の方には大変お世話になりました。(埼玉、50代女性)

秋の援農募集枠は残りわずかになりました！(体験・援農)

企画名	生産者	期間	募集	応募	残
NEW 赤かぶの漬け込み手伝い	(有)月山農場(山形県)	11月7日(水)~11月9日(金)	3	1	2
小ネギのハウス栽培	(農)ながさき南部生産組合(長崎県)	11月23日(金)~11月24日(土)	2	0	2
秋冬白菜の収穫作業	JA加美よつば(宮城県)	11月30日(金)~12月1日(土)	5	4	1

企画への申込・問い合わせは、夢都里路くらぶ TEL:03-5291-6700 まで 次号発行予定 11/20ごろ